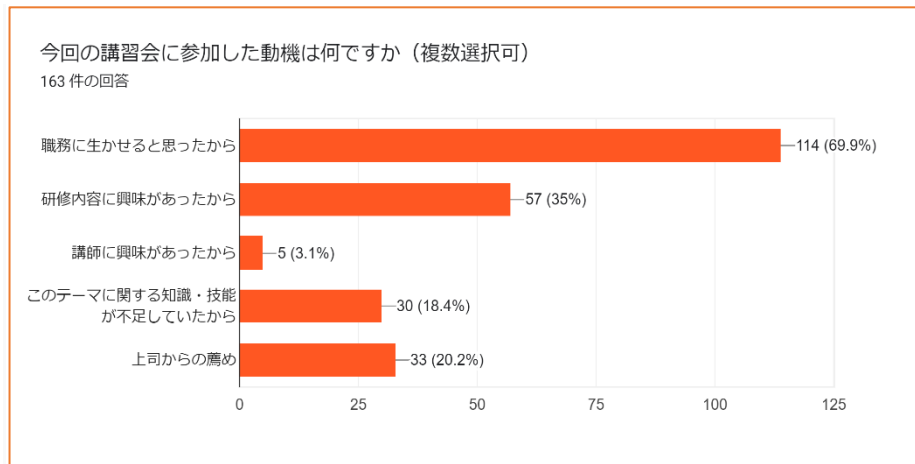


令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

参加状況

区分	当初申込み	受講可人数	参加者	出席率
県	24	24	21	87.5%
市町村	21	21	20	95.2%
建設業	57	57	54	94.7%
コンサルタント	119	119	114	95.8%
その他	7	7	6	85.7%
計	228	228	215	94.3%

1. 今回の講習会に参加した動機は何ですか（複数選択可）



その他の場合や上記の具体的な理由を記入ください

- CPDS 対象講習のため
- 災害復旧の現状等を学ぶため
- 災害復旧工事の最新の動向が知りたかったから
- 近年多発する災害への対応力を学ぶため。
- 災害査定の簡素化について最新の情報を得るため
- 災害の知識の習得
- デジタル技術に興味があったから。

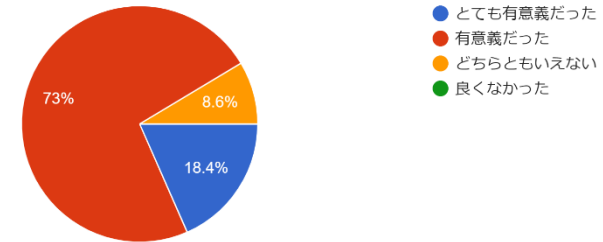
- 災害実務を実施するにあたり最新の知見が得られると考えたため
- 災害業務にそなえてです。
- CPD の取得とともに災害復旧事業に関して、最新の情報や基準等について学習することにより、今後の業務に役立てるため
- CPDS のため
- 災害業務を担当になった
- デジタル技術を活用した災害査定に興味があったため
- CPDS
- CPD ポイントの取得
- 統一事項の更新
- R9 号災害に携わっていたため、その後の内容が知りたかった
- 災害応援のため
- 災害業務に当たり、査定設計書及び資料の作成に係る知識向上のため。
- 近年、災害業務に携わっているため
- 情報収集
- 主な改定内容を把握したいがため
- 災害測量等におけるデジタル化の現状と将来を知りたかったから
- 国道9号の復旧工事に興味があった。
- CPD
- 災害で設計をしているから
- 島建特別会活動に活かせると思ったから。
- 災害起きてしまった時の対応を詳しく知りたかった
- 災害復旧について、今後の動向が気になったため
- 部下の教育のため
- 今年度の災害復旧設計に役立つと思って受講しました。
- 災害発生の時期になったから
- 他県の情報も取り入れるべきと思ったから

令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

- 島建特別会の災害支援のため
- 災害復旧事業の最新動向の情報の取得
- 災害復旧工事の合理化に資する情報収集
- 島建特別会の災害支援のため
- 国道9号線の地すべり災害について、詳細な内容に興味があったから。
- 「災害査定における島根県統一事項」の改定内容を知りたかったから。
- 災害技術支援員であり、本講習会を受講する必要があった。
- 今年の災害業務に備えて

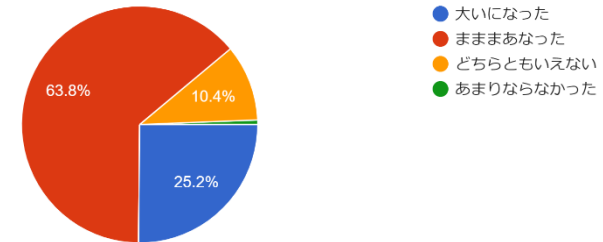
2. この講習会は有意義でしたか

この講習会は有意義でしたか
163件の回答



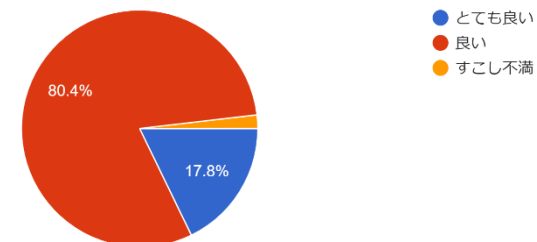
3. 今後の自己啓発の動機付けになりましたか

この講習会は今後の自己啓発の動機付けになりましたか
163件の回答



4. 講師について意見がありますか

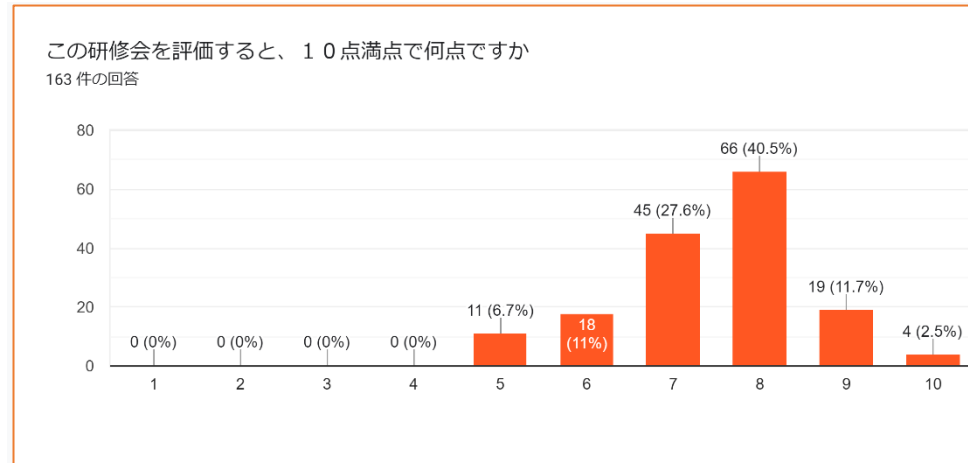
講師について意見がありますか
163件の回答



令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

5. この講習会を評価すると10点満点で何点ですか

AVE: 7.5



その具体的な理由を記入して下さい

- リモート接続がスムーズであればよかったです。
- 勉強になった。
- 内容に関しては不満はなく、とても有意義な研修になりました。しかし、動画を流す部分であったり、回線の部分でもう少し事前準備が欲しかったです。忙しいのは重々承知しておりますが、検討していただけると幸いです。
- 通信接続等に時間を割き不具合対応をもう少しスムーズにしていきたい。また、災害復旧事業に係る最近の話題の講義時に、講演者以外の声が入り込み、講義が聞き取りづらかったため
- 多岐の災害は多くの写真を用いて非常にわかりやすい内容であった。
- 国交省の細川企画専門官のお話は、国としての災害業務におけるデジタル技術の取組事例を具体的に示していただいた貴重な機会であった。
- 「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」では苦労した点、効果的であった点など率直な意見を聞くことができた。
- 災害復旧事業に関して、講師の分かり易い説明や資料により、最新情報（デジタルを利用した技術）や基準の改定等が得られことができ、今後の業務に役立つことができると思われるため。

- 分かりやすかった
- 通信の段取りをもう少し良くしていただきたい。
- 講師の音声が聞きにくい箇所がありました
- 非常に聞きやすく、求める内容を十分網羅していた
- 自分の知識不足が原因で少し難しく感じた。
- 資料もわかり易く、講師の説明もわかり易かった。
- 知りたい情報が多く含まれていたため。
- 通信機器の調整不足
- 会場担当の方のITスキル不足が原因で十分な講習ではなかったと思います。
- 講義の内容はすごく分かりやすかったがリモートの際に少し声が聞き取りづらかったから。
- 講師の方の話方がうまく、飽きずに聴講できた。
- 災害時の意識疎通を図るうえで重要と思う
- オンライン開催に伴うシステム確認不足がマイナスでした
- 全体的に、講師の方の説明がわかりやすかった、時間配分も調度良く感じ集中して、聴くことができた。
- 機器の接続に時間を要したのが残念でした。事前の確認は出来なかったのでしょうか。
- 講習内容としては十分であると感じたため。
- 講義自体は非常に良かったのですが、音響設備、リモート講義の方法などについて、事前によく打合せがあったのでしょうか。最初の講義前、うまく繋がらないピリピリした感じや、休憩中のマイクの不具合など、講義外の部分でやや不満がありました。
- 災害復旧やドローンを用いた査定など、今後役立ちそうなことについて学べた。

令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

6. この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください

- リモートのトラブルもあったが、全体的に聴きとりやすかった。
- 講習会の手元資料はデータで閲覧が出来るようにしてほしい。
- コンサル向けだった。
- 最初の通信のチェックは事前に確認した方が良いと思います。
- 運営側の事前確認不足と思われる調整時間(動画データの再生の不具合)が多かったため、スムーズに時間進行が図れるよう対応いただきたい。
- 講習会当日前にWEB操作を十分に事前確認しておくべきであると感じた。
- リモートによる講習会となるため、事前の接続等を行い円滑に講義が行われるようにしていただければと思う。
- リモートで講習を実施されたので受講する場所の選択肢がありよかった。しかしリモート慣れしていなかったためか画面共有の不備やPPで発表者画面でのスライドショーなど改善して頂ければと思います。
- 回線の不備など準備不足だと思います。
- 今後も浜田地区でのリモートは継続していただきたい。
- 隠岐会場の設定により手軽に受講できます
- テキスト、教材などの配布資料をあらかじめ、PDF等の電子媒体で提供して頂けると助かります。
- 最初の本省の方の講義は、始めにネットが上手くま繋がらなかったのが残念でした。
- 県職の方が多く参加されていたように思いましたが、イマイチ興味がなさそうに感じられました。
- 開催前のリハーサル不足ですし、機材の操作程度は学習しておくべきではないでしょうか
- リモートの取り扱いを事前に行い、スムーズな運営をしてほしい。
- 特に河川においては、その個所を復旧(コンクリート構造物等で改良)しても下流が被災することは多々あると思います。復旧工法について、いい加減ではないですが、過度な議論をしても仕方がない場合もあると思います。国のように流域治水の概念で市町に対策は難しいため、島根県統一事項などのローカルルールは貴重だと思います。
- データの設定は、事前に調整すべき
- 講義の最初が画面等が表示されず、始まりが遅くなったが、紙ベースが配布されているので、定刻どおりに始まれば良いと思いました。音声はちゃんと聞こえていたので それと、スクリーンでしゃべっておられる方の顔が表示されると良かったです(小画面で)
- 他会場の開催箇所数を、可能なら増やしてほしい。
- お気づきとは思いますが、この受講確認シートの『国道9号出雲市多岐地区』→ 多伎
- ネット接続、音響についてはイマイチ
- 受注者からの積極的な意見がもっと聞けると良かったと思います。
- リモートの接続にてまどって集中力を削がれた。また、会場(浜田県土整備事務所)の工事をされていて、工事の音で聞こえにくい所があったので、今後は試験会場の配慮をして欲しい。

令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

7. 今後講習会に取り入れてほしいテーマ・内容があれば記入してください

- LiDARを使用した災害復旧の測量方法
- 道路基本計画
- まちづくり、景観、デザインに関するテーマを開催してもらいたい(例:出雲大社神門通りの取り組み)。
- ICT 舗装修繕について
- 日程の都合で受講できないこともあるので、動画視聴ができるシステムがあれば大変助かります。
- この講習会の時期を分散して欲しい
- 分野ごとのデジタル化の現状と将来(橋梁、落石対策等)
- 県職 OB や民間 OB の経験談をお聞かせ願いたい。
- 橋梁補修設計における補修工法の新技術を教えてください。
- 維持管理的視点からの設計において留意する事項について聞きたいです。

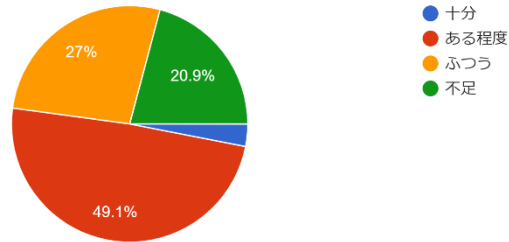
8. 今後「島根県建設技術センター」に取り組んでほしい内容や開催してほしいイベントがあれば記入してください

- 足場など法改正したものについての講習があれば開催してほしいです。
- 橋梁設計の基礎講座
- 若手就業者確保のための PR イベントやイメージアップ CM 制作
- 昨今の新技術の動向について知りたいです。

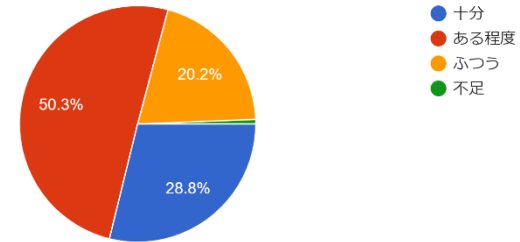
令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

9. 講習会科目「災害復旧事業に係る最近の話題」について

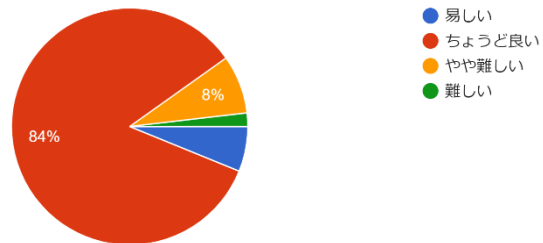
「災害復旧事業に係る最近の話題」について受講前に科目の内容を知っていましたか
163件の回答



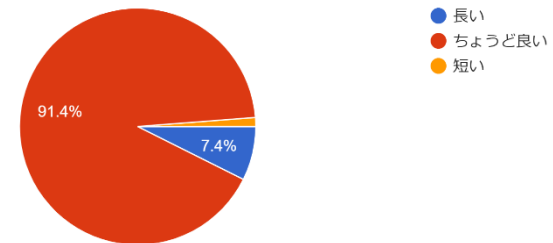
「災害復旧事業に係る最近の話題」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか
163件の回答



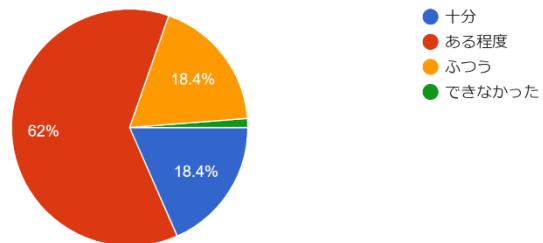
「災害復旧事業に係る最近の話題」の講義水準はどうでしたか
163件の回答



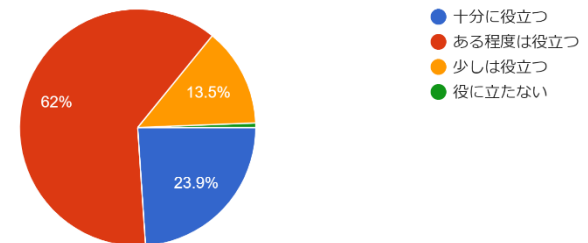
「災害復旧事業に係る最近の話題」の講義時間は十分でしたか
163件の回答



「災害復旧事業に係る最近の話題」の内容について理解できましたか
163件の回答



「災害復旧事業に係る最近の話題」は今後の仕事に役立ちますか
163件の回答



令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

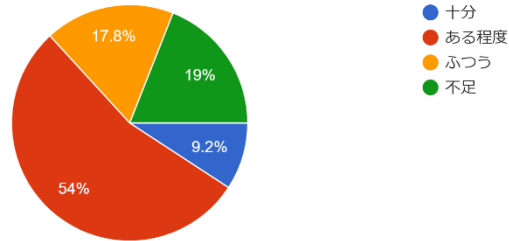
「災害復旧事業に係る最近の話題」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 接続、共有、音声等準備不足で聞きにくい講義だった
- オンライン会議中は、講師の方以外はミュートにして欲しい、他の声や物音が入って講師の声が聞き取りづらい。また、講師側への意見としてスライドは単画面にして欲しい、複画面だと小さ過ぎて見えない。
- 災害のデジタル技術については今後積極的に取り組みたい。
- 音声が聞きずらかった。パワーポイントポイントが小さすぎた。
- 冒頭のWEB接続に時間がかかりすぎた。事前にデモを行っておくべきと感じた。
- R5年度の災害手帳の改正情報を得ることができたとともに、災害査定時の設計資料の作成において、省力化や時間の短縮化を目的としたデジタル技術の活用は、非常に有効であると感じた。島根県内の各市町村が統一した内容で進めていくことが肝要であると思われる(市町村により要求される内容が異なることがある)。
- パワポの作動ができなかったのは残念です 音声が聞き取りにくかった 最新の話は参考になった
- 時間配分がちょうどいい。
- デジタル技術による省力化を目指す講義内容で、システムエラーはいただけません。事前に接続確認をするべきでしたね。
- 国土交通省の方からマクロな視点での災害対策(流域治水、遊水地)、ミクロな視点での市町村支援の取り組み、デジタル技術活用と幅のある内容でよかったですと思います。
- 査定の効率化・迅速化を図るためにデジタル技術の活用は有効と思われる。
- 今後、三次元での測量設計が主流になっていくのでしょうか？
- 災害復旧事業の経験職員が少ない職場のため、国交省さんで新たに作成されたガイドラインは業務の参考になります。

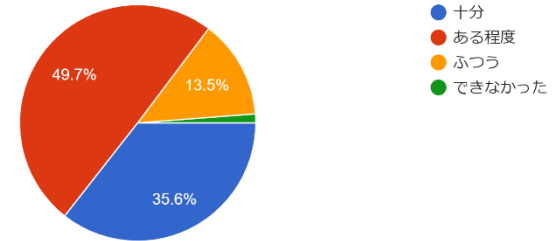
令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

10. 講習会科目「国道9号多岐地区地すべり災害復旧工事」について

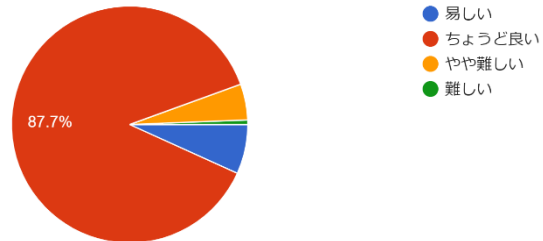
「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」について受講前に科目の内容を知っていましたか
163件の回答



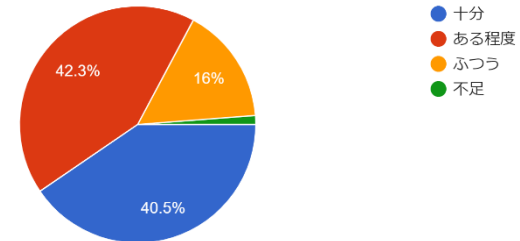
「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」の内容について理解できましたか
163件の回答



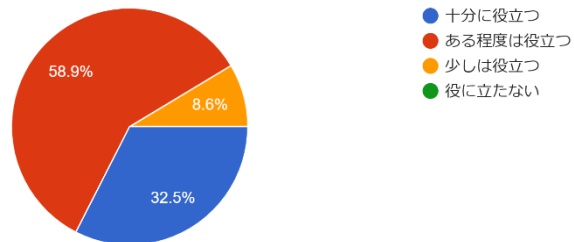
「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」の講義水準はどうでしたか
163件の回答



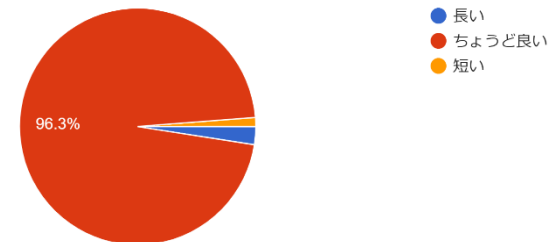
「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか
163件の回答



「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」は今後の仕事に役立ちますか
163件の回答



「国道9号出雲市多岐地区地すべり災害復旧工事」の講義時間は十分でしたか
163件の回答



令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

「国道9号多伎地区地すべり災害復旧工事Ⅰ」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

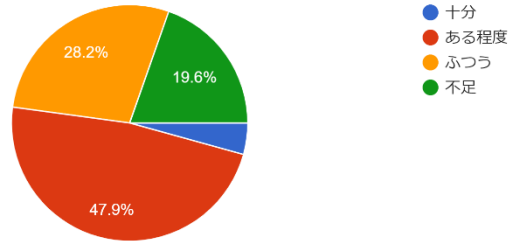
- 身近に起きた地滑り災害のため、興味を持って聴くことができました。
- 応急復旧として JR 側に落石防止ネットが設置されています。写真で見ると法面全体にモルタル吹付をしているように見えるのですが、モルタルの上から設置するような何か特殊な工法を採用しているのでしょうか。
- 当社もこの業務に携わっていたため。
- 災害発生から工事完成までの経緯がとても分かりやすく整理された資料であった。
- これまでの土木技術講習会において、施工業者さんからの講義で、ある程度内容は知っていたが、本講習会での発注者(管理者)からの説明で、災害発生時から対策完了までの状況や課題に対する対応等が良く理解できた。講師からの説明で、事前のシミュレーション、速やかな協力体制の構築とコミュニケーションの重要性を改めて認識することができた。
- 現場の統括安全はどこの会社が行ったのでしょうか(保守工事でしょうか)、その会社を指名した理由は何だったのか伺いたい。また設計についても中心となった業者があったと思いますが、どういう理由で選定されたのでしょうか。
- わかりやすい資料でした
- 応急復旧段階において、地形状況のみが解っている段階で、排土量及び水抜きボーリングの位置・方向・深度をどのように決定したのか教えて頂きたいです。
- 地すべりが生じた詳細な原因(すべり面の地層・地下水位の動きなど)
- 技術的な視点より、コミュニケーションの重要性にフォーカスした内容で、今まで見聞きしていない新しい情報でした。JR が積極的に協力していたことに少し驚きました。
- JR 側の水抜きボーリング流末処理がうまく施工できているか。写真を見る限りでは垂れ流しになっているのでは？ 集水井の深さの根拠は？ 10m は浅すぎるのでは？ 最初に滑った箇所のボーリング調査はなぜ実施していないのでしょうか？
- ライフラインの復旧に多大な労力を要した事に敬意
- 幹線道路の地すべり災害の早期復旧に向けて尽力された方々に敬意を表します。
- 情報共有の重要性について再認識しました。
- 別の講習会で受注者サイドの話を聞いていたので、発注者サイドでどのような対応をされていたのかがわかり、参考になりました。

令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

11. 講習会科目「島根県の取り組み」について

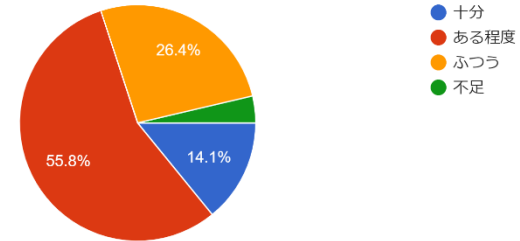
「島根県の取り組み」について受講前に科目の内容を知っていましたか

163件の回答



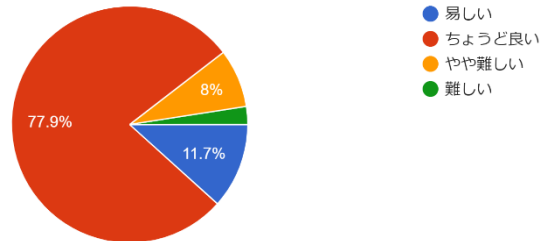
「島根県の取り組み」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか

163件の回答



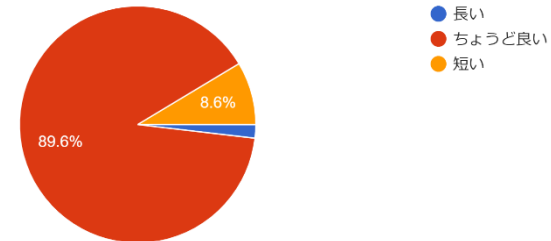
「島根県の取り組み」の講義水準はどうでしたかしたか

163件の回答



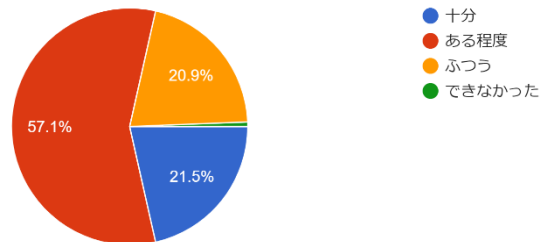
「島根県の取り組み」の講義時間は十分でしたか

163件の回答



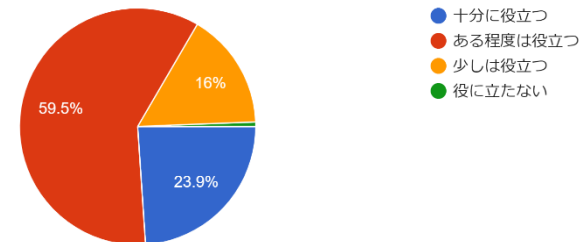
「島根県の取り組み」の内容について理解できましたか

163件の回答



「島根県の取り組み」は今後の仕事に役立ちますか

163件の回答



令和5年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

「島根県の取り組み」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 災害査定について、実際施工するために必要な伐採などが見込まれてない事が多く、協議して追加工事として取り扱うことになるのですが、発注者からお金が無いと言われ渋られたりします。査定時に見込むなど何とかならないのでしょうか。
- スライドの文字が小さく見辛かった。
- 省力化は賛成ですが、作業として必要なものは必要だと思います。
- 環境保全型ブロックは環境要素にもよるが、積極的な適用は避けたほうが良いのでしょうか？
- デジタルたる技術は今後提案して行きたい。
- 配布資料が簡潔かつコンパクトにまとめられていた。
- 災害査定資料の作成において、島根県の統一事項の改定等の情報を得ることができ良かった。災害業務を行う際は、島根県統一事項やドローンを活用し、迅速に効率よく作業が行うことができればと思う。
- 毎年査定の簡素化が話題になりますが、島根県の場合、査定と詳細設計を同時に行うので、簡素化は写真だけだと思います。ドローン撮影もいいですが、結局は今までの作業に追加されるだけの様な気がして負担が増えることになりそうです。
- 講師の話すスピードがゆっくりでもよかった気がする。過年度の査定事例を踏まえてお話があればより分かりやすかったと思う。市町村によって、考えかたが違うので県の統一基準に準じてほしい。
- 災害発生箇所や状況により、様々なデジタル技術(UAV、TLS、LiDAR)を使い分けできる様な方針を制定して頂けたら、省人・省力化が期待できると考える。
- 災害査定のデジタル技術を用いた測量は、ドローンだけでなく地上型レーザーキャナーを多用する方が適している場合があると思います。如何でしょうか。
- 災害時、ドローンを飛ばすのに許可はいらないのか教えて下さい。
- 今後は、ドローンなどのデジタルデバイスの利用を一般化するのか？
- 島根県統一事項の改正が今回一番聞きたかった講義なので、もう少し時間を取ってもらいたかったです。その時間に丁度浜田合庁では、外壁工事をしておられ、音がうるさく聞き取れない所がありました。統一事項が新しく公開されたら良く読みたいと思います。
- 災害手帳の改定内容について、当該年度の統一事項に反映させるのは困難ですか。
- 今後、三次元での測量設計が主流になっていくのでしょうか？
- 現状でよろしい方思います。

令和5年度「災害復旧実務講習会」質問表

2023/05/15開催

項目	「災害復旧事業に係る最近の話題」	
講師	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 企画専門官 細川 晋 氏	
	質問者	受講番号212
①	質問	今後、三次元での測量設計が主流になっていくのでしょうか？
	回答	

令和5年度「災害復旧実務講習会」質問表

2023/05/15開催

項目	「国道9号多伎地区地すべり災害復旧工事」	
講師	国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所 出雲維持出張所長 後藤 隆彦 氏	
②	質問者	受講番号22
	質問	応急復旧としてJR側に落石防止ネットが設置されています。写真で見ると法面全体にモルタル吹付をしているように見えるのですが、モルタルの上から設置するような何か特殊な工法を採用しているのでしょうか。
	回答	ご質問ありがとうございます。 JR側の落石防止ネットは通常の落石防止ネットです。応急復旧時は土塊が地すべりにより変動しており、吹付けたモルタルが変動により割れることも想定され、直下にはJR山陰本線も存在したことから、万が一剥がれてしまった場合、JR山陰本線側に破片等が落ちないように念のため設置したものです。
③	質問者	受講番号47
	質問	現場の統括安全はどこの会社が行ったのでしょうか(保守工事でしょうか)、その会社を指名した理由は何だったのか伺いたい。また設計についても中心となった業者があったと思いますが、どういう理由で選定されたのでしょうか。
	回答	ご質問ありがとうございます。 現場の統括安全は当事務所の災害応急対策活動等に関する基本協定締結者の代表社となっており、発災当初より現場に携わって頂いていた会社に相談のうえお願いしております。 設計については中心となったというよりは、地質・測量・設計のそれぞれの成果をとりまとめる会社として、既に発注されており、現地確認や委員会資料作成等が対応可能であった設計会社に追加でお願いして対応頂いています。 いずれも選定基準等はなく、当方より分担等を相談し、引き受けて頂ける会社をお願いしております。
④	質問者	受講番号131
	質問	応急復旧段階において、地形状況のみが解っている段階で、排土量及び水抜きボーリングの位置・方向・深度をどのように決定したのか教えて頂きたいです。
	回答	ご質問ありがとうございます。 発災当初、水抜きボーリングの位置・方向・深度については、現地を地質調査会社や学識経験者等で調査を行い、その後地質業者に提案頂き、学識経験者等による地すべり検討委員会で助言頂いたうえで決定しています。 排土量についても同様に行っていますが、応急復旧ではとにかく土塊の移動を抑制するため、早急にできる限りの頭部排土を行い、本復旧にて残りの排土を行えるような構成で実施しております。 調査や設計を行いながら一刻も早く工事を進めるため、出来ることから実施していたという状況です。
⑤	質問者	受講番号164 日本インフラマネジメント株式会社 原 直巳
	質問	JR側の水抜きボーリング流末処理がうまく施工できているか。写真を見る限りでは垂れ流しになっているのでは？ 集水井の深さの根拠は？10mは浅すぎるのでは？ 最初に滑った箇所でのボーリング調査はなぜ実施していないのでしょうか？
	回答	ご質問ありがとうございます。 JR側の水抜きボーリング流末処理は排水管で下まで流すような施工をしておりますが、一部で湧水が排水管にうまく入っておらず、ご指摘のように垂れ流しになってしまっています。今後も観察を続け、必要に応じて対策したいと思っています。 集水井位置については地質調査会社・設計会社等に提案頂き、学識経験者等による地すべり検討委員会で助言頂きながら決定しています。考え方としては路面より下の排水は排水横ボーリングで受け持つような設計となっているようです。また、最初に滑った箇所のボーリング調査は資料には掲載していませんでしたが、ボーリング調査も実施したうえで検討・対応しております。

令和5年度「災害復旧実務講習会」質問表 2023/05/15開催

項目	「島根県の取り組み」	
講師	島根県土木部 技術管理課 主任 廣野 大輔 氏、砂防課 主幹 小石 尚寿 氏 氏	
⑥	質問者	受講番号93
	質問	災害査定について、実際施工するために必要な伐採などが見込まれていない事が多く、協議して追加工事として取り扱うことになるのですが、発注者からお金が無いと言われ渋られたりします。査定時に見込むなど何とかならないのでしょうか。
	回答	伐採費用等の準備費についても、査定時に計上することが可能です。県・市町村職員向けの研修での周知を検討します。
⑦	質問者	受講番号42
	質問	環境保全型ブロックは環境要素にもよるが、積極的な適用は避けたほうが良いのでしょうか？
	回答	今回の改定は、環境保全型ブロックの適用を完全に否定するものではありません。統一事項記載の通り、ABC表により検討・整理を行ったうえで、環境保全型ブロックが適当と判断されれば、採用可能です。
⑧	質問者	受講番号107
	質問	災害査定デジタル技術を用いた測量は、ドローンだけでなく地上型レーザースキャナーを多用する方が適している場合があると思います。如何でしょうか。
	回答	デジタル技術を用いた測量は、ご質問のとおりドローン・地上型レーザースキャナー等を活用し、測量期間の短縮やコスト縮減に繋がればと思っております。
⑨	質問者	受講番号25
	質問	災害時、ドローンを飛ばすのに許可はいらぬのか教えてください。
	回答	災害時のドローン運用に関しては、都道府県警察や国・地方公共団体またはこれらの依頼を受けた者が、事故や災害時に災害対応としてドローンを飛行させる場合に限り、航空法で定められている禁止内容を申請なしで行うことができます。
⑩	質問者	受講番号68
	質問	今後は、ドローンなどのデジタルデバイスの利用を一般化するのか？
	回答	今後は、デジタル技術が測量設計業協会や建設業協会へ浸透していくことが想定されますので、一般化に向けた加速していくと思います。
⑪	質問者	受講番号175
	質問	災害手帳の改定内容について、当該年度の統一事項に反映させるのは困難ですか。
	回答	災害の体制に万全を期すため、例年出水期前まで(6月以前)に改定を行っており、災害手帳は例年6月頃発刊されるためスケジュール的に困難です。
⑫	質問者	受講番号36
	質問	今後、三次元での測量設計が主流になっていくのでしょうか？
	回答	今後は、デジタル技術が測量設計業協会や建設業協会へ浸透していくことが想定されますので、一般化に向けた加速していくと思います。



